

# 令和4年9月市議会定例会より

## 〜工藤市長の一般行政報告〜

9月9日から22日間の会期で開催された市議会定例会では、初日の一般行政報告をはじめ、9月補正予算の審議などが行われました。  
※全文は、市ホームページにも掲載しています。



微ある産業やスポーツを実際に体験しながら、今後の更なる交流につながるよう、本市への理解を深めてもらう取り組みを行ったところです。

そのほか、JR稚内駅と枕崎駅に到着した方への10周年記念来駅証明書を発行し、本市を訪れる旅行者にも、両市が友好都市であることをPRし、JRの利用促進に繋がる取り組みも進めているところです。

や交流会などを通じ、枕崎市の歴史や文化を体感しながら、枕崎市民との交流を深め、今後の友好交流の礎となるよう進めていきます。

### 新型コロナウイルスの感染拡大防止対策について

新型コロナウイルス感染については、現在は、多少落ち着きを見せていますが、7月から8月にかけては、



北防波堤ドームでの歓迎交流会

【第7波】、いわゆるBA5と呼ばれる変異株の影響を大きく受け、最も多い時には、宗谷管内で一日の感染者数が97人と、新規感染者が大幅に増加したところがあります。

このような状況を踏まえ、市としては、8月を「感染予防強化月間」と位置づけ、

市内の各事業所への啓発や、大型商業施設、繁華街、空港などで、市民や観光客に感染予防の協力の呼びかけを行ったほか、ワクチン接種については、予約なしで接種できる日を設定しながら、進めてきたところです。これまでの接種状況とし

ては、4回目のワクチン接種については、60歳以上の方と、18歳から60歳までの基礎疾患がある方で、いずれも、3回目の接種後5か月を経過した方が対象ですが、9月5日現在で、対象者1万3千人に対し、1万人、約80%の方が接種を終えています。

また、12歳以上を対象とする3回目の接種については、既に対象者の80%が接種を終えています。また、

3回目まで終わっていない方についても、並行して受け付けているところです。一方、早期発見による感染拡大防止や不安解消などにつなげるため、2月から開設している新型コロナウイルス検査所ですが、8月は無休で、かつ利用時間を延長し、1日平均100人以上の利用がありましたので、9月についても、現在の体制を継続していきたいと考えています。

さらに、発熱した場合は、直接医療機関の受診が必要となりますが、8月は各医療機関の「発熱外来」も受診者が殺到し、対応できない状況にありましたので、急遽、市立病院の発熱外来の検査件数を、1日30件から50件に拡大しました。現在は、受診者数も落ち

着いてきたところであり、通常の1日30件に戻していますが、今後、感染状況を見ながら対応していききたいと考えています。

### 稚内港の利用状況について

現在、稚内港を利用する大型船舶については、クルーズ船や大型風車を運ぶ貨物船の入港が挙げられますが、クルーズ船については、今年度は当初14回の寄港が予定されていたものの、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響によって、これまでのところ、7月8日の、国内船籍である「ばしふいっくびいなす」の寄港1回に留まっています。

のクルーズ船ツアーが一時寄港を予定していた、コルサコフ港の利用が難しくなったということもあり、これら外国船籍のクルーズ船については、稚内港を始めとして、道内の港への寄港が、現在は難しくなっているところです。

このように、現在は国内・外国船籍とも、今後の情勢を注視せざるを得ない状況ですが、引き続き、クルーズ船の誘致に努めていきたいと考えています。

一方で、今年3月から7月にかけて、民間発電事業者による風力発電施設の建設に係る荷役が本格化したことを受け、この間、多くの大型貨物船が海外から入港し、1基あたり約500トンにもなる風力発電施設48基分の資機材が、陸揚げを終えています。

運び込まれた資機材は、風車の羽根部分や支柱部分など多くの部品に分解され、現在、末広ふ頭、天北1号・2号ふ頭を埋め尽くすように並べられており、順次、各建設場所へ搬送されているところです。

これらの動きに伴い、稚内港に係る使用料などは、平年を大きく上回るペースで推移しており、特に大型貨物船の入港時に用いる引

### 鹿児島県枕崎市との交流事業について

本市と枕崎市は、JRの最北端・最南端の発着駅であることを縁に、平成24年に友好都市を締結し、行政だけでなく、民間の方々も様々な交流を続けてきています。今年も、友好都市締結10周年を迎えたこと

もあり、両市が協力し、記念事業を展開しているところです。

6月17日には、枕崎市の前田市長、永野市議会議長をはじめとする、市民訪問団25人が本市を訪れ、新型コロナウイルスの影響により、当日開催予定であった「わかかない白夜祭」が中止になったものの、市内視察をはじめ、歓迎交流会などで、両市の絆を深めることができました。

また、青少年交流事業として、8月に枕崎市の中学生14人が本市を訪れ、昆布干しやカーリングなど、特

記念事業としては、10月下旬には、本市から枕崎市への市民訪問団も予定しており、現在、市民の参加募集に向け準備中ですが、訪問にあたっては、市内視察



クルーズ船「ばしふいっくびいなす」お見送りの様子

また、2月に始まった、ロシアのウクライナ侵攻の影響で、これまで外国船籍